



発行日 2021年8月20日 発行者 社会福祉法人 椿福社会

つばき 第80号

〒538-0031 大阪市鶴見区茨田大宮2丁目2-25

電話 06-6911-1002 FAX 06-6911-1006 Web <http://tsubaki-fukushikai.com/>

残暑お見舞い
申し上げます

フレンドリーふぁーむ

ものを育てる素晴らしさを感じ
農業の楽しさを見つける場所

紫陽花が綺麗に咲き始めた6月より、鶴見区安田で農業を主とした取り組みを就労継続支援B型で始めています。今後、四季を通して土と向き合ったその成果物である新鮮な作物（枝豆、さつまいも、きゅうり等）を育て、たくさんの方へと野菜を届けていきたいと考えています。誰もが生きがいを持って必要とされる場できいきと活躍できるように、一人一人の特性を活かしながら、農業と福祉の豊かな関係を築いていくことを目指す活動と考えています。



contents

第80号

バックナンバー
あります。



椿福社会の
ホームページに

- ▶ フレンドリーふぁーむ、目次 1
- ▶ 理事会、評議員会報告 / 事業報告 2
- ▶ 新人職員紹介 3
- ▶ 事業所の取り組み（つるみの郷） 4
- ▶ 事業所の取り組み（ワークセンター） 5
- ▶ 事業所の取り組み（つるみ更生指導所） 6
- ▶ 事業所の取り組み（グループホーム） 7
- ▶ 事業所の取り組み（相談、ヘルプ） / 編集後記、寄付 8

法人から 理事長就任あいさつ

2021年7月より、社会福祉法人椿福祉会の理事長に就任いたしました高部と申します。あらためて法人の舵取りを担う責任の重さを痛感しております。利用者の方や家族の方をはじめ、地域の皆さんや職員に「椿福祉会があって良かった」と思っていただけのような努力する所存です。

法人の理念である「人間の尊厳を守る」という言葉は前理事長の言葉ですが、現在ではこの理念に近づいた形で法人内に浸透をしてきました。この言葉は、お互いが恵みあい、お互いが助けあうという福祉の原点をわかりやすく表していると思います。法人が、そして法人の施設がある地域が、一步でもそういった理想的な状態に近づくよう職員と力を合わせて頑張っています。

現在、世界中でコロナウイルス感染が広がり多くの犠牲者が出ています。お亡くなりになられた方へ心より哀悼の意を捧げるとともに、新たな感染拡大防止について法人の組織を挙げて取り組んでまいりますと共に市民生活が平常化する事を心より願ってやみません。

一層の混迷が進む中、何よりもありがたいのは地域の皆さま、関係機関の皆さまのご支援です。引き続きのご支援、ご指導、ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

理事長 高部真実

新役員体制

理事長	高部 真実	評議員	山内 泰典
常務理事	下中 敏行		小椋 敏壽
理事	浅野小五郎		柴田 好子
	小室八千代		桑名 一夫
	幡中 俊雄		魚住 誠一
	石丸 陽亮		上原 文裕
監事	久澤 貢		寺谷 博
	芦原 学		



法人から 2021年度の運営方針

椿福祉会の2021年度事業運営にあたっては、施設利用者に喜ばれ、活気あふれる施設経営を目指し、職員一人ひとりの意識改革を念頭に、新しい発想や手法を取り入れ、経営理念の推進のため、安定経営の基礎となる人材の育成及び確保に努めます。財政基盤の確立を図っていくことを基本に関係機関と連携し、地域住民のニーズに応えられる持続的、安定的に地域福祉サービスの向上できる経営を目指します。人材確保対策では、国の働き方改革を実行するため

の施策や2025年の介護職員人材不足問題に対応するため、業務日課を見直し人材確保に努めます。

法人本部と各施設及び施設間の連絡調整と連携を図り、法人の円滑な事業展開に努めます。また、安定経営の基盤を確立するために、中長期事業計画の進行管理に基づく適切な財政管理を行います。更に、人材の育成と確保を重点課題として、法人運営を支える人的基盤の強化に努めます。

新人職員紹介

① 部署

② 働いた感想・趣味

タテシツナ
立石 理奈



①本部

②現在、障害福祉サービス費や利用料の請求業務を主に担当しています。締切までに正確な入力求められるためプレッシャーを感じますが、わからないことは何でも聞けるため心強くありがたいです。制度内容や現場の状況も理解していきたいと思います。

アサリマナミ
浅野 真奈美



①本部

②入社してすぐ決算業務を担当し、障がい者施設は初めてで、分からない事も多く大変でしたが、優しい先輩の励ましもあり、乗り越えてこれました。利用者の方々と直接関わる事はないのですが、他の事業所のことも知って、頑張っていきたいと思います。

モトヤシタカシ
元屋地 貴至



①つるみの郷

②最初は利用者さんの対応に困る日々でしたが、利用者さんと向き合う日が多くなるにつれて理解できることが増え、円滑なコミュニケーションを行い笑い合う事が多くなりました！趣味はパソコンと食べ歩きが好きで、お酒は飲めますが弱いです。（笑）

ウエマナナミ
上間 菜々美



①つるみの郷

②初めの頃は慣れない事が多い日々でしたが、優しく教えて下さる先輩方や、楽しく話して下さいる利用者の方々のおかげで

いつも楽しい職場でこれから沢山、役立って行ければなと思います。趣味は語学を学ぶことです！

アサイナナカ
浅井 菜々香



①つるみの郷

②栄養士として利用者の方の栄養管理など食事の面からサポートすることができ、とてもやりがいを感じています。私の趣味は旅行とショッピングをすることです。今は厳しいですが、いつか色々な国に旅行できることを楽しみに精一杯頑張ろうと思います。

モリタアヤカ
森田 彩華



① ワークセンターつるみの郷 就労支援B型

②あっという間に一日、一週間と過ぎていきます。職員同士の仲は凄く良く、利用者の方々も一人一人違う良さを持って

いて毎日が一日でも同じような日はありません。最初は不安でしたが日を重ねる度に仕事にも慣れ、今は自分らしく仕事できています。

サカモトエリコ
阪本 栄理子



①つるみ更生指導所

②去年から更生指導所のみなさんと過ごすことになり、今年より正規職員になりました。みなさんに楽しくおいしいご飯を

食べてもらうように頑張っていこうと思います。支援の方も日々利用者さんに元気をもらって色々なことを学んでいきたいです。

つるみの郷

アイスクリーム

つるみの郷では5/11(火)に移動販売のアイスクリーム屋さんを開店しました。コロナ渦、施設内で過ごしている利用者さんに「何か食べたいものはないかな?」と尋ねたところ「アイスクリーム、551の豚まん」という声が上がったので、アイスクリームを提供することにしました。アイスはチョコとバニラ、ソースをキャラメルとチョコ、あと沢山トッピングも用意しスペシャルなアイスクリームをみなさん笑顔で食べていましたよ。ちなみに551の豚まんは運動会で食べる事ができました。



お花見

4月18日(日)、つるみの郷でお花見行事を行いました。食堂にレジャーシートを敷いて、テレビに映した桜の映像を観ながら、ジュース、お菓子を飲食しました。外でお花見はできませんでしたが、利用者の皆さんは、楽しそうに参加していました。来年、コロナウイルスが落ち着いていれば、みんなで楽しく公園でお花見をしたいです。



運動会

5月中旬より感染対策としてゾーニングを実施していたこともあり、6月29日(火)に、全員が集まるのを避けるため、各階フロア毎に分かれて運動会を開催しました。各階フロア同時進行で、西ホールは輪渡しリレー・写真撮影会、中央ホールでは玉入れ・お玉リレー・豚まん取り競走をしました。また事前に運動会用に皆で作成したオリジナルTシャツも着用し、楽しく全競技終える事が出来ました。

1番印象に残っているのは、豚まん取り競争です。皆さん真剣な表情で頑張って走っていましたよ。昼食はボリューム満点なオムライスとハンバーグの弁当、午後からは豚まん取り競走の豚まんをジュースと一緒に食べましたが、皆さん大満足した様子で「美味しかった〜」「運動会楽しかった!」と笑顔で話していました。運動会終了後も参加していない職員に、「メダルもらったよ」と嬉しそうに見せていました。利用者も職員も笑いがたえない1日になりました。



ワークセンター つるみの郷

七夕行事

7月7日(水)七夕行事をしました。コロナの影響もあり、就労と生活介護での合同は難しかったのですが、各階に分かれて開催することが出来ました。七夕にまつわるお話を鑑賞したり、短冊に自身の願いや思いを書いて、大きな笹に結びました。そのあとは、皆で七夕ゼリーを食べました。みんなの願いがかないますように…☆彡



手作りレクリエーション

生活介護で、紙コップに折り紙を使って1人ずつ好きな飾りを作り、糊で張り付けてもらいました。ウサギの耳や鬼の角など色々な顔のパーツをつけたりと個性豊かな作品ができました。ストローで吹き矢を作り、完成した紙コップをピラミッドの形にして、吹き矢で「ふ～」と矢を飛ばして何個、倒れたかを競って楽しみました。(^^)/



枝豆の収穫

ワークセンターの敷地内にある花壇と3階の中庭に枝豆や他の野菜を植えました。みんなで種をまいて苗を作り、順番に水やりや雑草取りにも頑張って取り組みました。

「いつ、できるかな?」「なんか、豆が膨らんできてる!」と嬉しさと喜びの声が、日々大きくなってきました。そして梅雨が来ました。たくさん雨が降り「大丈夫かな」と心配するもつかの間、「めっちゃ、豆がついて大きくなってる」とわくわくした様子で知らせてくれました。さぁ!収穫

の日!!しっかりと茎を持って土から引き抜くと「採れた!」「見て!見て!いっぱいついてる」と喜びの声が上がりました。収穫のあとは…「食べる!!」ハサミで枝から豆の房をチョキン!チョキン!と切り離して水洗い。塩もみをして沸騰したお湯に入れて茹でて出来上がり。いよいよ試食です。「美味しい♥」「甘い♥」の声が続々と上がっていました。「次は、何を植えるの?」と楽しみにしているようでした(≧▽≦)



つるみ更生指導所

新しいプログラム

つるみ更生指導所では、午後は曜日ごとのスケジュールを決めて活動をしています。月曜日はレクリエーションで、利用者さんからリクエストを聞き、ボーリングや輪投げ、ワニワニパニックやハンカチ落としなどゲーム感覚で楽しめるものに取り組んでいます。一番になった人には表彰状の贈呈があり、ボーリング大会などでは得点を競いながら楽しんでいます。



火曜日は製作活動で、毎月模造紙に月ごとの貼り絵を作成しています。6月はあじさい、7月は七夕をテーマに作りました。どのようにデザインするのか、何色の折り紙を貼るのかなど話をしながら作っています。折り紙をちぎる役割、色鉛筆で背景を塗る役割、折り紙を黙々と貼る人など、それぞれが得意なことを活かして、一つの作品を作りあげています。



水曜日の午後は余暇活動で、誕生日会や季節に合わせた行事で、楽しい時間を過ごせるように考えています。



木曜日は手芸をしています。糸にビーズを通す作業に集中して取り組んでいますが、回を重ねるごとにビーズを通すスピードが早くなってきています。同じ色を合わせて通したり、小さなビーズを通してみたり利用者さんそれぞれの個性が出ている作品ができあがっています。



金曜日はヨガストレッチです。支援員の見本を見ながら体を伸ばしたり、数を数えながら指の体操をしたり、片足立ちの競争をしたりなど様々なストレッチを利用者さんのリクエストなども聞きながら取り組んでいます。利用者さんがインストラクター役になってストレッチのポーズを考えたり、みんなに合図を出すこともあります。



金曜日は1週間の終わりなので、1週間のことを振り返りながらの瞑想タイムもあります。

新しくできた1週間のスケジュールなので、これからも工夫をして利用者さんが楽しく取り組める日課になるように頑張っています。

グループホーム つばき

グループホーム利用者の方の休日

コロナ禍以前は1人で電車やバスに乗って出掛けたり、ヘルパーと一緒に遠出をしたり、ホーム利用者数名で散歩へ出掛けたり、グループホーム利用者が集まって自治会の会議や誕生日会をしていました。今はまだ以前のような自由な外出はできませんが、自粛しながらどのように過しているのかをお伝えしたいと思います。

休日は、朝食を食べて部屋でゆっくり休み、ワークセンターで育てている畑の植物へ水やりをしたり、人気の無い道を選んで散歩をします。道中では、咲いていた花を写真に撮りました。他には、道や景色の写真を撮っています。春には桜も写真に残しました。



決まった時間に朝食を食べて、部屋の掃除をしたり、ゆっくりと過して、スーパーが混雑する前に昼ご飯を買いに行きます。買い物へ出る前までは、「からあげを食べる」と決めていても、スーパーで美味しそうな菓子パンを見ると変更してしまうこともあります。スーパーまでの道中で、散歩している犬に出会うと嬉しいです。

グループホーム利用者が全員集まれる広さのリベルタの食堂で、お互いの距離を取って動画鑑賞や体操をしています。動画は、電車や動物、歌謡曲や童謡、ラーメン体操、工作等、リクエストがあればみんなで一緒に穏やかに過しています。



コロナ禍で、やりたくてもできないことがたくさんありますが、みなさん穏やかに過しておられます。

ホームヘルプセンターひまわり 障がい児者生活支援センターひまわり

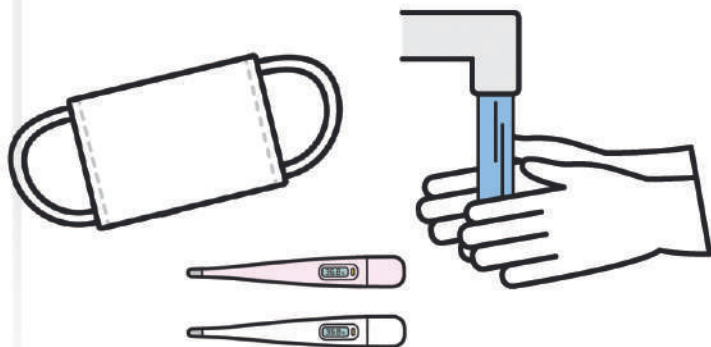
出来る事から少しずつ

コロナウイルスが蔓延して1年半、ヘルパーの仕事にも大きな影響がありました。

訪問時の不織布マスク着用はもちろんのこと、訪問直前の手指消毒、訪問時の利用者さんの体温チェックなど徹底して感染対策を行っています。

通院介助については交通機関降車時の手指消毒、在宅への訪問では利用者さんにもマスクの着用を呼びかけました。

色々と行動が制限されますが、その中でもコロナウイルスの感染状況を確認しながらタイミングを見計らい出来る支援を行っています。「1時間やけど散歩出来て良かった」「久しぶりにヘルパーさんに会えて嬉しかった」などの声に励まされながら、今後も支援を続けていきたいと思えます。



PCR検査開始します！

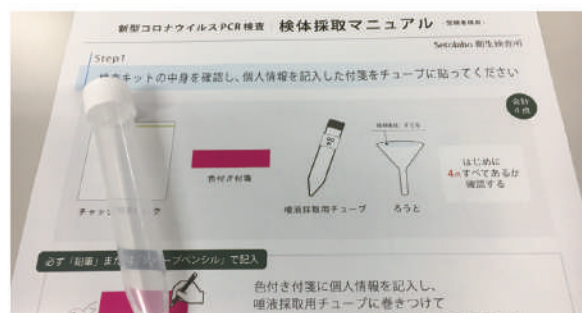
大阪市は、市内の高齢者・障がい者入所施設の従業者で無症状の方を対象に、無料で定期的なPCR検査を実施しています。

この度、対象者が通所系・居宅系サービス事業所等に拡充され9月末まで実施出来る事となりました。

そこで私たちも、2週間に一度定期的にPCR検査を行っていきます。

ニュースを見ているが無症状の方が多く発表されているため『ウイルスを運ばない、うつさない』ためにも検査を受けることができ、ホッとしています。

併設している、支援センターひまわりと共に受検し、今後も安心して利用していただけるよう感染対策を徹底していきます。



寄付金等

ありがとうございました。 大前 哲彦 様

後記

コロナ禍で自粛続きの子供たちもストレスのピーク!!と思いきや、ゲーム、ゲームと画面に向かって動かず…。

そんなにゲームが面白いのかと、私も子供に交じってプレイすると、意外にもできるではありませんか!!

たまには子供と一緒にすることも大事なことだと思いました。

また、愛娘が受験生なのでサポートしていきたいと思えます。

コロナにも受験にも打ち勝つぞ!!

(M・K)